

報道関係者各位

2020年9月25日

株式会社吉野家

一般社団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)

社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

一般社団法人 食支援活動協力会

吉野家、那覇東バイパス国場店にて 「子ども食堂」へ牛丼弁当提供による 食事支援を開始

株式会社吉野家(代表取締役社長 河村泰貴、本社:東京都中央区、以下吉野家)は、9月25日(金)から、那覇市社会福祉協議会(子ども食堂サポートセンター那覇)を通じ、家庭の経済状況を問わず子どもと地域をつなぐ居場所として開放されている「子どもの居場所」に、牛丼弁当を無償提供いたします。

■子ども食堂への牛丼弁当無償提供の背景

厚生労働省が2020年7月17日(金)に公表した2019年国民生活基礎調査によると、中間的な所得の半分に満たない家庭で暮らす18歳未満の割合「子どもの貧困率」は、2018年時点で13.5%であり、前回2015年の13.9%から大きな改善は見られず、依然として子どもの7人に1人が貧困状態にあります。

吉野家でも、約2万人の従業員の半数が女性ということもあり、子どもだけでなく、子育てをする親への支援を続けております。“食”に携わる吉野家としては、子どもの貧困は看過できる問題ではなく、その問題解消の一翼を担いたいと思い、子どもが安心して食事をできる環境を作るため、今回那覇市社会福祉協議会(子ども食堂サポートセンター那覇)と連携することとなりました。

吉野家は子ども食堂への牛丼弁当無償提供の活動を広げることで、子どもの貧困解消に貢献していきたいと考えております。

■子ども食堂への牛丼弁当無償提供の概要

吉野家那覇東バイパス国場店で調理した、できたての温かい牛丼弁当を「子どもの居場所」スタッフがお届けします。

※子どもだけでなく、世帯全員分の牛丼弁当をお届けします。 ※事前予約が必要です。 ※無償提供の数量には上限があります。

「子ども食堂」牛丼弁当支援スキーム

子ども食堂サポートセンター那覇が注文数を確定・注文。吉野家が調理した牛丼弁当を、子ども食堂サポートセンター那覇職員の方が吉野家店頭で受け取り、子どもの居場所を通じて子どもたちにお届けします。



News Release

■こども食堂サポートセンター事業について

こども食堂サポートセンターの事業は、一般社団法人全国食支援活動協力が2019年度の休眠預金の助成(こども食堂サポート設置事業)を活用した民間公益活動です。休眠預金活用事業は、日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が指定活用団体として、子どもの貧困解消に向けて精力的に活動を行っております。こども食堂サポートセンター事業では一般社団法人 食支援活動協力会と連携し、那覇市社会福祉協議会をはじめとする中間支援団体4団体が全国4地域で子どもの居場所を支援する取り組みを展開しています。

「子どもの居場所」に関するお問い合わせ先はこちら

こども食堂サポートセンター那覇 TEL:098-857-7766 E-mail:93879387@nahasyakyo.org

■飲食店としての私たちの役割

人々の生活に寄り添い、“牛丼”という日常食を提供する社会インフラとして可能な限り食事を提供することが、吉野家が果たすべき役割だと考えております。いまこの瞬間も、社会生活を維持するために働いてくださっている方々(医療従事者、警察官・消防署員、介護施設・保育施設で働く方々、食品スーパー・物流関係者、宅配のドライバーさんなど)がたくさんいらっしゃいます。この状況下においても社会インフラを守るために活動されているみなさんに温かい食事と安心してお召し上がりいただける環境を提供したいと考えております。

<お客様のお問い合わせ先>

株式会社吉野家 お客様相談室

TEL 0120-69-5114(受付時間 9:00~16:00)

<報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社沖縄吉野家 広報担当 中村

TEL 098-834-9833

株式会社吉野家 企画本部 広報担当 寺澤

TEL 03-5651-8620